



第18号

令和5年8月1日



A young girl with dark hair, wearing a pink dress and pink socks, is captured mid-jump on a trampoline. She is smiling and has her arms slightly out. The trampoline has a yellow border and a green mat. In the background, there is a wooden structure with a railing, possibly part of a playground or a building. The lighting is bright, suggesting an outdoor setting during the day.

議会基本条例の制定を目指して！…P11

コロナ禍を乗り越えて元
気にトランポリンの練習
に励む子ども達。坂貫の
林業総合センターでの練
習風景の1コマ。みんな
楽しそうに、真剣に、練
習に励む姿は輝いていま
した。

それぞれ将来の夢に
向かって心身ともにたく
ましい美里っ子に育って
ほしいものです。

小さくても キラリと光る 私たちのまち

令和5年第2回定例会

定例会は6月6日（火）から9日（金）までの4日間の会期で開催された。
 今回提案された町長提出の案件は、専決1件、条例5件、補正予算3件その他13件など22件。審議の上、全議案可決・同意した。
 一般質問には、6人の議員が登壇し活発な議論が交わされた。

議決事項

議案番号	件 名	議決結果
報告第1号	議会の委任による専決処分事項（損害賠償の額を定めること）の報告	
議案第42号	美里町手数料条例の一部を改正する条例の制定	原案可決
議案第43号	美里町介護保険条例の一部を改正する条例の制定	原案可決
議案第44号	美里町重度心身障がい者医療費助成に関する条例の一部を改正する条例の制定	原案可決
議案第45号	美里町特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の制定	原案可決
議案第46号	美里町家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の制定	原案可決
議案第47号	令和5年度美里町一般会計補正予算（第3号）	原案可決
議案第48号	令和5年度美里町生活排水特別会計補正予算（第1号）	原案可決
議案第49号	令和5年度美里町簡易水道事業特別会計補正予算（第1号）	原案可決
報告第2号	令和4年度美里町一般会計繰越明許費繰越計算書の報告について	
議案第50号	下福良・山出辺地に係る総合整備計画の策定について	原案可決
同意第5号～14号	美里町農業委員会委員の任命につき同意を求めることについて	原案同意
同意第15号	美里町副町長の選任につき同意を求めることについて	原案同意

◎一般会計補正予算（第3号）

一般会計の補正は5,654万5千円を追加し、歳入歳出予算総額はそれぞれ71億753万8千円となった。

主な事業は下記の通り。

事業名	金額	概要
空き家再生等推進事業	736万円	移住定住促進のためのお試し住宅修繕料
電力・ガス・食料品等価格高騰 重点支援給付金	4,800万円 30万円	物価高騰対策支援として（非課税世帯） 家計急変世帯分
コミュニティー助成事業	250万円	小崎地区・石原地区
特色ある教育推進事業交付金	100万円	町内各小中学校に交付
美里町簡易水道施設整備補助金	300万円	中岳地区

第2回定例会

〔質疑〕

○令和5年美里町一般会計補正予算(第3号)

【福田議員】子育て世帯等臨時特別支援事業返還金(住民税非課税世帯等分)の2,206万円は、どういう理由で返還するのか。

【谷口福祉課長】令和3年から4年にかけて事業を実施したが、予定より対象者が少なかったため、未給付分と事務費を返還する。

条例の制定(改正)

『美里町介護保険条例の一部を改正する条例の制定』

※国の財政支援の取扱い方針の決定により、関係条例を改正するもの

『美里町重度心身障がい者医療費助成に関する条例の一部を改正する条例の制定』

※熊本県重度心身障がい者医療費助成事業費補助金交付要領の一部を改正する要領が施行されたため

『美里町特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の制定』

『美里町家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の制定』

※両改正案とも、こども家庭庁設置法の施行に伴う関係法律の整備に関する法律の施行に伴い、関係条例を改正するもの

人事案件

『美里町農業委員会委員の任命につき同意を求めること』

※任期は、令和5年7月20日から令和8年7月19日までの期間である。

・村田 博治(岩下)	再任
・椿 孝博(古閑)	新任
・奥村 智(永富)	再任
・長木 一美(白石野)	再任
・川上 信久(石野)	新任
・平野 保弘(洞岳)	新任
・松田 政明(弘川)	再任
・吉坂 美佐子(遠野)	再任
・村上 七郎(川越)	新任
・濱田 憲治(堅志田)	再任



『美里町副町長の選任につき同意を求めること』
現任の吉住慎二氏の任期が終了する事により引き続き再任を求めることに全議員同意した。任期は令和5年7月1日から令和9年6月30日までの期間である。

第3回臨時会

4月27日(木)

○一般会計補正予算

主な事業

- ・新型コロナウイルスワクチン接種関連
3,571万円
- ・老人福祉センター修繕料
1,225万円
- ・子育て世帯生活支援特別給付金(ひとり親世帯以外の低所得の世帯 一児童5万円)
500万円
- ・地域通貨補助金
4,720万円

○条例

- ・美里町税条例等の一部を改正する条例
- ・美里町国民健康保険税条例の一部を改正する条例

○契約

- ・町道三本松千間線災害復旧工事請負契約の一部変更(5,951万円を5,368万円に変更)

人事案件

美里町固定資産評価委員として島田昌臣氏(畝野)が選任された。

第3回全員協議会

3月27日(月)

○中央北地区簡易水道年次計画について

令和14年度までの計画とし給水開始は令和9年度となる見込み。

○町づくり公社の状況について
公社については前年度、赤字の状況であったため令和5年度に経営の見直しを図るとした。

第4回全員協議会

4月7日(金)

○防災マップの更新について

前回作成から5年が経過し今回新たに更新となった。名称を美里町災害対応ガイドブック

『生き抜く術の心得帳』とし、順次地区説明会を開く予定としている。

町政の **ここ** が知りたい

6月
定例会

一 般 質 問

一般質問は、議員の日常活動と調査・研究、住民の声や自身の考えをもとに、町長や教育長などの方針を問うものです。一人60分以内の時間制限内であれば質問の回数に制限はありません。議会だよりでは、紙面の都合で質問と答弁が要約してあります。今回は6人の議員が登壇し町政について問いました。

保護者負担の軽減を

低廉な費用負担になるよう 慎重に協議する。



坂田 竜義 議員

○ 学校部活動の地域移行は

(問) 「部活動改革」の改革推進期間における三年間の計画はどのようなものか。

(宮寄教育長) 本年四月、熊本県教育委員会から熊本県公立中学校における休日の運動部活動の地域移行推進計画が示され①中学校の休日の部活動を地域移行する②生徒の発育発達に応じた地域スポーツ活動を行う。③指導者の確保と資質の向上を図る。を重点に行っていくこと、となっている。本町でも「検討会」を開き、県の推進計画の沿って本年度中に検討組織を設置し町の推進計画を策定する。そのために「中学校部活動地域移行コーディネート」を配置して進めたい。

(問) 地域格差にどう対応していくのか。

(宮寄教育長) 都市部と本町では練習場所への送迎や指導者の確保等で地域格差が生じていくと思われる。本町では近年生徒数の減少から二つの部活動を合同で行っており、特に日曜日の部活では保護者に送迎を委ねている。今後検討組織において、検討していきたい。

(問) 保護者の費用負担にどう対応するのか。

(宮寄教育長) これまでは、教員の献身的な働きによって支えられ指導料の負担はなかったが、今後は地域の競技団体の指導者に対し相応の対価や、ケガ等の保険料、施設利用料

など考えられる。保護者の経済的負担が大きくならないよう対応する必要がある。

(問) 住んでいる地域や家庭環境に左右されず誰でもスポーツを楽しめる社会にどう対応するか。

(上田町長・宮寄教育長)

生徒が経済的理由でスポーツを諦めざるを得ない状況は避けていくべきだと考える。部活動は生徒が主体的に取り組むことで生徒の体力、競技力の向上、人間関係の構築又学習意欲の向上や、自己肯定感、責任感、連帯感を養うなど教育的意義を有している。今後持続可能な体制整備に努めたい。

又生涯スポーツ振興の観点からも住民自ら主体的に健康づくり、体力づくりに取り組むコミュニティの形成、充実を図っていく。



中体連サッカー競技

その他の質問

○ 教員不足対策について
○ 介護保険見直しについて



「協働のまちづくり」の取り組みは！

町長

まちづくりの基本は自助・共助・公助！
住民ワークショップなどで意識の向上を図る。



平野 保弘 議員



ローゼルジャム

○協働のまちづくりについて
(問)「美里町おもやい応援補助金」のこれまでの利用状況とその効果はどうか。
(松岡美しい里創生課長) 持続可能な地域社会を目指すため、地域における多彩な活動の立ち上げを支援するものとして、令和3年度から事業を開始している。これまでの利用状況としては、令和3年度は5件、令和4年度は7件(新規3件、継続4件)を採択している。効果としては、活動団体の数が増え継続されていること、具体的にはローゼルジャム等の商品化に繋がったことなど、地域コミュニティの維持・創造に繋がっていると考えている。

(問)他に「協働のまちづくり」の取り組みにどのようなものがあったのか。
(松岡美しい里創生課長) 代表的な例として、「産業連携協議会」がある。新たな観光ルートの開発や、特産品の開発に取り組んでいる。また、「協働のまちづくり」へ繋がる支援として、「おもやい応援補助金」の他、地区公民館等の整備補助金、コミュニティ助成、スポーツ協会補助金、「eスポーツでいい里づくり事業」等各地域のコミュニティの形成に繋がっていると考えている。

(問)美里町では「協働のまちづくり」のメリット・必要性についてどう考えているか。

(上田町長) 人口減少高齢化が進む本町において、行政だけでは解決が困難な課題が今後ますます増えていくと予想される。自助、共助、公助の考えを持って、個々の人と様々な団体、そして行政が緊密に連携し協働でまちづくりを行うことは、今後の行政運営に必要不可欠だと考えている。

(問)美里町では「協働のまちづくり」に対する新たな取り組みは考えているのか。
(上田町長) 今後は、産業連携協議会を軸に住民ワークショップなどでまちづくりに対する意見を伺うなど、「協働のまちづくり」に対する意識を育てるとともに、幅広い住民の意見や発掘された課題や提案を町の施策に活かしていきたいと考えている。



「みつわんかふえ」

その他の質問

○自主防災活動について
○美里バスの効果的運用について



宅地造成事業の民間事業への補助は

町長

補助制度を準備することは有効な手段。



村崎 公一 議員

○ふるさと納税

(問) 昨年のふるさと納税額は。

(松岡美しい里創生課長) 昨年のふるさと納税の合計額は2,079万円。令和3年は、3,784万円となり、前年比54.9%という結果である。

(問) ふるさと納税の額が増えない現状をどのように考えているのか。

(松岡美しい里創生課長) ①昨年、委託事業者を変更した際に、ポータルサイトの再構築が必要となり、一旦寄付の流れが切れ、結果美里町の返礼品がヒットしづらくなった。②返礼品にはその時のトレンドがあり、そのトレンドに対応した返礼品が用意できなかった。③様々な課題が発生した時に対応していく事が出来なかったマンパワーの問題。今後は新規返礼品の開発、効果的な広告、組織体制の整備など、様々な方策を考え、実施していく。

(問) 町民の方への周知は行われているのか。

(松岡美しい里創生課長) 他市町村

への寄付を促すこととなり、町の税収減に繋がる為、積極的な周知は行っていないが、町外に居住する親族や友人等の寄付に繋がる可能性もあるため、前向きに検討していきたい。



美里町ふるさと納税返礼品

(問) 現在、町が利用しているポータルサイトの数。今後、増やしていくのか、そのメリット・デメリットは。

(松岡美しい里創生課長) 町が開設しているポータルサイトは、3つ。新たなポータルサイトの増設に向けた検討を行っている。メリットはサイトを増やせば間口が広がり、寄付の増加に繋がる。デメリットは支払いや在庫管理等の業務量が増える。

(問) ふるさと納税は「恒久的・安定的」な財源となるのか。

(上田町長) 恒久的・安定的な財源として見込むことは難しい。しかし、これまで実施できなかった事業も検討することが可能になり、関係人口・交流人口の創出にも繋がる、有用な制度である。

○定住施策

(問) これまで行ってきた定住団地(若者団地)は。

(松岡美しい里創生課長) 町が整備した定住団地は5団地、世帯数の合計は105世帯。

(問) 今後、町としての宅地造成の予定はあるのか。

(上田町長) 昨今のTSMC進出の波及効果や中央北地区の簡易水道事業を活かすためにも、人口増に向けた有効な手段の一つと考えている。

(問) 民間活用・事業所に対しての補助はできるのか。

(上田町長) 新たな宅地造成等住宅団地の整備は、限られた町の財政運営・人的資源の中で、民間企業主導による民間資金やノウハウの活用により、整備が出来るのであれば、是非、前向きに検討していきたい。



子育て支援の更なる強化は

町長

国・県の動きに合わせ対応
できる財政運営を行っていく。



吉住 淳一 議員

○町営住宅の現状と今後の見通し

(問)入居者の状況と各団地の築年数はどうなっているか。

(富永建設課長) 現在団地の数においては全19団地254戸となっている。築年数については10の団地が築40年を経過しており、今後5年以内にはほとんどが耐用年数を超える状況となる。



町営住宅八幡原団地

(問)入居者からはどのような要望がでているのか。

(富永建設課長) 入居者に対しアンケート調査を行った結果、浴室や台所など水回りの改善要望や団地によっては駐車場が不足しており、拡張の要望があがっている。

(問)今後の課題と対策について

(上田町長) ほとんどの団地において築年数が古くここ数年で耐用年数を超える状況にあり、併せて一部の団地においては土砂災害警戒区域に含まれるため、団地を集約するなど検討していきたい。また若者世代の定住や移住者の受け入れ先として建て替えも視野に検討していきたい。

○子育て支援事業

(問)現在町で取り組んでいる事業はどうなっているか。

(谷口福祉課長) 出産・子育て応援給付金事業として妊娠届時に7万5000円、出生届時に7万5000円が支給される。また今年度から(0歳から2歳児)保育料の完全無償化を実施している。これまでも町独自の支援として第1子から第3子に10万円、第4子以降20万円を支給する出生児祝い金支給事業を行っている。

(問)今後更なる支援を行う考えは。

(上田町長) 今後も町の子育て支援の関連予算においては国県の動きに合わせた予算配分が必要となる

ることが予想されるので、しっかりと対応できる財政運営を行っていききたい。

○水道事業

(問)中央北地区簡易水道事業の現在の進捗状況と今後の予定は。

(酒井上下水道課長) 本年度は実施設計業務を発注し業務委託契約を行い、小筵水源地从ら萱野までの約1kmの送水管布設工事を予定している。令和9年から順次給水開始の予定で、少しでも早く安心・安全な水が届けられるよう取り組む。

(問)水道事業の広域化について

(上田町長) 県の水道事業広域化については、広域なブロックになりメリットが出にくいと考える。全体の課題整理と具体的な内容が示されると思うので動きを注視しながら方向性を検討して行きたい。町としても水問題は重要であることから今後も検討していきたい。





中央北地区の給水区域の見直しは



濱田 憲治 議員

町長 農振除外を進め、見直しを検討する。

○移住・定住

(問) 移住希望者の相談や入体制、現況と今後どの様に進めるのか。

(松岡美しい里創生課長) 現在、職員1人と地域おこし協力隊1名の2名体制で、今年度、新たに「移住コーディネーター」として、地域おこし協力隊を採用予定。移住者に寄り添った支援を目指す。



古民家を改装された
イタリア料理店 (三加)

○空き家対策

(問) 空家の利活用について、今後どの様に進めるのか。

(松岡美しい里創生課長) 速報値で、美里町で519件の空家がある。今年度、新たに「お試し住宅」の整備を行う。(町内の空き家を募集・選定し、町が借り上げ、改修

を行い、移住者に活用してもらう。

(問) 民間業者の活用は。

(上田町長) 福岡県福津市に、民間の団体「暮らしの間屋」という組織があり、成功事例を参考に将来的に考える必要がある。

○農業の維持継続

(問) 農業経営を支えている補助金等(国、県、町)について、町の対応と支援体制はどの様に考えていくのか。

また、農業機械購入支援策の更なる要件緩和等、どの様に考えていけるのか。

(西寺農業政策課長) 美里町農業用機械等導入補助金の補助対象者の拡充は、妥当性や他産業との整合性、平等性が求められる。

(上田町長) 補助制度は、財源の問題、兼業農家の方々も含む営農者の方々の推移も見極めながら今後検討したい。

(問) 『指定振興作物』の拡充は。

(西寺農業政策課長) 美里町の農地に適した作物として「里芋」を検討している。

(問) 補助制度に特化した役割を担う職員も必要ではないか。

(上田町長) 職員の個々のスキル向

上、育成、それぞれの担当の分野で情報能力の向上を目指したい。

○「中央北地区水道事業」

(問) 中郡線の配水管布設後、近隣の地区から、給水時期を早められないかと要望があった場合、どの様に対応するのか。

(酒井上下水道課長) 緊急性が認められる場合は、給水工事が可能な範囲の地区であれば対応を検討する。

(上田町長) 法改正で、簡易水道所管の省が移管され、予算がしっかりと確保できれば出来る限り早く給水したい。

(問) 新設される給水区域の見直しはあるのか。

(上田町長) 計画給水区域は住宅地となりうる可能性が見込まれる地域を考慮して申請している。

計画区域には、農振指定されている土地も含まれ、今後農振除外を積極的に進めたい。

将来、計画給水区域外で町営水道の利用が見込まれる場合は、その都度拡張に向けた変更認可申請を検討する。



浜戸川の河川改修工事を

町長

改修が必要と判断した場合、
熊本県と協議する。



隈部 寛 議員



道路まで冠水した浜戸川（馬場）R 5年7月3日

○浜戸川河川改修工事

（問）現在、浜戸川の河川が浸水、冠水し、破損して危険性が有る。町として維持・管理や改修工事を熊本県に要望をできないのか。（上田町長）河川管理者である熊本県が整備計画を進められている。熊本県と、協議し、最善の改修方法を要望していきたいと考えている。

（問）浜戸川の用水堰の破損部分がある。町としてどのような対策を考えているのか。（西寺農業政策課長）用水堰は、受益者で構成される水利組合等で維持管理すべき施設となり補助事業などで修繕可能なので、負担金は発生するが、相談や要望を。

（問）浜戸川の水害を防ぐ為、どのような対策を考えておられるのか。（上田町長）近年の地球温暖化で過去に無い異常気候となり、町として早期の避難を考えている。災害対応ガイドブックや携帯電話などを利用し対策を考えている。

（問）有安地区旧工場跡地周辺の整備をするにしても基本的に浜戸川の整備が将来的に必要と思われるが、考えは。（上田町長）河川改修が必要と判断した場合、熊本県と協議し改修が出来ないかなど要望していきたい。

○移住・定住関係の支援制度

（問）近年の転入転出のそれぞれ数字は。（松永住民生活課長）令和2年度85名、令和3年度116名、令和4年度21名と転出超過が続いている。

（問）転出超過は正の為、どんな制度があるのか。（松岡美しい里創生課長）定住・移住には空き家バンク活用とか、補助金制度が色々あり、子育て支援、結婚支援もある。

（問）移住・定住関係の支援を町独自の考えで緩和する考えはないのか。

（松岡美しい里創生課長）空き家バンクには補助金制度が有りますが、空き家バンクに未登録の場合、補助金はない。何らかの支援もあって良いかもしれないと思つてるところである。

（問）人口減少が続くと考えられるが、移住・定住関係をどのよう推進していくのか。（上田町長）移住・定住の促進は町の重要政策の一つとして認識している「移住コーディネート」「お試し住宅」など新たに計画しインターネットでの積極的な情報発信にも努める。

○美里町における入札は

（問）町が町外発注する大きな工事等を町内の事業所とのジョイントベンチャー（共同企業）の形態をとる考えはないのか。（吉住副町長）現在町内の工事においては、町内業者の指名を基本としている。そのうえで、事業規模が約5億円以上となるジョイントベンチャーを活用した事業の、土木部門では町内業者を含むことを条件づけて入札を行うことが可能。建築部門においては難しい。

委員会活動報告

委員会及び現地調査（6月8日）

令和5年度一般会計補正予算を審議

総務文教常任委員会

委員長 濱田憲治 副委員長 福田秀憲
委員 上田 孝 吉住淳一 村崎公一

【総務課】

『窓口及びシステム導入』
①来庁された住民の方の手続き要件に応じて、必要項目を聞き取りながら、関連する手続きをスムーズに案内するシステム。
②マイナンバーカードを活用し、氏名、住所、年齢等の同じ情報を自動で転記することで、関連する申請書も含め、何度も同じ情報を書かなくて済むようになるシステムである。

また、事前にスマートフォンや自宅のパソコンなどでいつでも、どこからでも事前申請を行う事が出来る様になる。

事前申請が完了すると、スマートフォンなどにQRコードが発行され、それを窓口に提示することで、本人確認だけで、証明書等の発行が完了し、利便性の向上につながるシステム導入である。

【美しい里創生課】

『お試し住宅の改修』
スケジュールは、6月に募集を開始し、7月選定（業者のプロポーザル）、10月に施工開始し、入居予定時期は、令和6年3月の予定である。

【現地調査】

『有安地区工場跡地』
更地になった現場を調査した。
今後、目的が完結出来るまでの間、雑草の処理が大変だと痛感した。



有安旧工場跡地

『美里町低用B&G海洋センター』
指定緊急避難場所である、低用B&G海洋センターの男女のトイレ改修が完了しており、段差も改修され、清潔で快適なトイレの環境整備がされている。



改修されたB&Gのトイレ

産業厚生常任委員会

委員長 坂田竜義 副委員長 高田美千子
委員 今田政行 隈部 寛 平野保弘

【福祉課】

子育て世帯等臨時特別支援事業費返還
・実績により支援給付費・事務費を返還する。（2,206万円）
同じく価格高騰緊急支援分

・対象世帯が少なかった為253万円を返還する
・臨時特別給付金システム改修業務委託料110万円。
・電力・ガス食料品等価格高騰重点支援給付金（非課税世帯分）4,800万円、同（家計急変世帯分）30万円。

【上下水道課】

・中岳地区簡易水道施設整備補助金300万円を補助。
・簡易水道、内園小崎線送水管布設工事 700万円を補正する。

【農業政策課】

・荒廃農地の今後の農地の利用意向をアンケート調査するため、郵便料14万5千円を補正する。
・国の事業採択により、農地利用効率化等支援交付金57万8千円を補正する。

【現地調査】

●昨年秋季崩落した町道三本松千間線の道路・水道管・用水路の復旧工事竣工後の現場を調査した。



町道三本松千間線復旧工事現場

●年内の完成を目指して改修工事（センターの屋根、空調設備、浴室など）が進んでいる老人福祉センターを調査した。
完成後は、現在湯の香苑で行われているデイサービスが老人福祉センターで行われる計画。



老人福祉センター（デイルーム）

特集 議会基本条例の制定を目指して!!

議会活性化特別委員会

議会及び議員の活動の充実と活性化を図ることを目的として議会運営に必要な基本事項を定めた議会基本条例を制定する。
この条例は議会における最高規範となるものです。

美里町議会では、本年の第1回～第5回の議会活性化特別委員会において「美里町議会基本条例」の制定について内容の検討を行ってきた。出来上がった（案）を広く町民に示し、意見や情報を求める為にパブリックコメントを実施した。（期間：5月11日～5月31日）

寄せられた意見を活かして、更に検討の上、議会の承認を得て制定される事となる。

※議会アドバイザーや、モニター募集・女性議会開催等について検討する。

○今後の取り組み。



収集されたごみを分別

第3回ボランティア活動として、JA砥用のガソリンスタンドから霊台橋を渡り、畝野のトンネルまでの区間のごみ拾いを実施した。
トンネル付近の山林に不法投棄されているごみの種類は様々で、多量であった。
環境汚染の面からも、早急なごみのポイ捨て防止の取り組みが重要な課題となっている。

※議会ボランティア活動 令和5年5月18日（木）

移住・定住をテーマに視察研修

3月29日（水）～30日（木）



後方の建物は無料の短期滞在住宅

移住・定住をテーマに長崎県五島市への視察・研修を行った。五島市は長崎県西の海上にある五島列島の福江島を中心とした周辺の島々からなる人口およそ3万4千人の市である。全国でも移住者の多いところとして知られており、令和3年度までの5年間で984人が移住している。（Uターン含む）30代までの若い世代が7割を占め、定着率は8割を超えている。
理由として、島の豊かな自然・整った生活環境に加えて、仕事や住まい・子育て支援など補助金や助成金の充実した制度が挙げられる。
美里町でも、人口減少に歯止めをかける対策の一つとして、移住・定住問題は重要な課題であり、先進地に学びながら前向きに取り組まなければならない。

上村氏・吉田氏が 旭日双光章を受章

令和5年度・春の叙勲

で、上村則幸氏（白石野）、吉田美好氏（大井早）が、共に旭日双光章を受章されました。

この叙勲は、両氏が町議会議員として25年以上勤められた功績を称えて贈られたものです。



熊本県町村議会議長会 会長に上田議長が再任

6月2日に行われた町村議会議長会の臨時総会において、上田孝議長が町村議会議長会会長に再任されました。任期は令和5年6月14日から令和7年6月13日までの2年間です。



もりかわけんた
森川 健大

中央中
一年

楽しいトランポリン

トランポリンを始めて約3年になります。最初に跳んだのは林業センターで行われた体験会です。ちよつと怖かったけど少しの力で高く跳べるのが

とても楽しかったです。習い始めてから練習を重ねて色々な技もたくさん出来るようになりました。出来なくてイライラして嫌になる時もあるけど出来た時にみんなから「出来たね!」と褒めてもらえる自信になります。今は、回転技の難しい練習もしているけど上手く

いかないことが多いです。でも、回転からきれいに着地したときにはとても気持ちがいいです。

トランポリンはお姉ちゃんとお母さんも一緒にやっています。家族から注意されてケンカになることもあります。でも家族と一緒にやれるのはとても嬉しいです。初めて出た熊本県スペシヤルトランポリン交流会では優勝し、この前は東京で開催された全国スペシヤ

ルトランポリン交流大会でも優勝することが出来ました。一緒に練習する人達や大会に出る仲間も増え、大会に出れば違う地区、他県の知り合いもたくさん出来て嬉しいです。

まだまだ、チャレンジしたい事はたくさんあるけど、まずは一つずつ出来ることを増やしてみたいと一緒に頑張っていきたいです。



よしだ
吉田

ゆう
祐海

小川工業
高校三年

美里大会で優勝

僕が野球に興味を持ったのは、小学校低学年の時でした。砥用少年野球クラブに加入し毎日基礎練習に取り組みました。そんな中、夏休みに父と二人で甲子園球場に夏の甲子園大会を観戦に行きました。入場口から歩いて行き、アルプスス

タンドに出た瞬間目に飛び込んで来た緑の天然芝と、圧倒されるほど大きなスタンド。そしてテレビでしか見た事がなかったバックスクリーン、あの時の感動は今でも忘れません。その時、自分も甲子園を目指しながら高校野球がしたいと思いました。高校は兄も通った小川工業高校に進学しました。野球部に入部し最初の

練習で、あまりのきつさに驚きましたが、厳しくも優しい先輩や同級生に恵まれ、毎日頑張る事ができました。先日の美里大会では、小川工業高校の主将として優勝旗を手にする事ができました。美里大会は、少年野球、中学校の野球部のチームメイトとして頑張った仲間と対戦する場です。試合中は、敵同士ですが、試合が終われば個人的に残って、一緒に練習したりと、久しぶりの再会を楽しみました。そ

頑張っています。チャレンジの心で!

んな毎日、7月の県予選が終われば引退となり、就職試験に向けて活動が始まります。私は今、県内での就職を希望しています。これまで、育ててもらった故郷に少しでも恩返しができるよう、野球で鍛えた精神力と、主将としての経験を武器に、就職試験にも全力でぶつかっていきたいと思っています。

編集後記

今年の梅雨入りは例年より12日程早く、台風も大型化し昨年より多く発生するとの予想です。台風の進路は日本の南から東日本太平洋側を中心に上陸のリスクが高まるようです。過去に数回しか例がないインド洋東部の高気圧性の循環が強まり、フィリピン近海へ吹く風が強まりこれが貿易風とぶつかり、台風発生域の対流現象が平年と比べ活発になり台風の発生数も例年より多くなる様です。エルニーニョ現象とも重なり大雨、風水害、超大型台風に備え、準備怠りなく警戒を強めましょう。(坂田)

お知らせ

◆次回定例会9月です。傍聴おいで下さい。

お問い合わせ

議会事務局
46-2111 (内線600)

議会広報委員

委員長	今田 政行
副委員長	高田 美千子
副委員長	村崎 公一
委員	濱田 憲治
委員	坂田 竜義
委員	隈部 寛
発行責任者	上田 孝